



▲国道3号から西郷川の合流地点までの改修を行った



▲改修前(上)と改修後(下)

かつては
コンクリートの川だった
上西郷川は平成25年までの改修で今のような川に生まれ

かつては
コンクリートの川だった

約1kmの区間は現在、緑が生い茂り、魚や昆虫がいる自然豊かな水辺になっています。

国道3号から西郷川までの約1kmの区間は現在、緑が生い茂り、魚や昆虫がいる自然豊かな水辺になっています。

住宅街にある
憩いの場所

から両谷地区、日蒔野地区を流れて、西郷川に合流する川です。周辺には国道3号やイオンモール福津、病院、住宅地が建ち並び、都会の一角を流れている小さな川です。

変わりました。

かつて上西郷川は、現在のように緑豊かな川でした。しかし昭和28年の大水害などでは、度重なる豪雨によって、水位が上昇し、堤防が決壊しました。また、川の周辺地域は水没し、甚大な被害が起きました。特に上西郷川は川幅が狭いこともあり、たびたび氾濫していました。

かつて、大雨による洪水を防ぐ治水や、農業用水などとして水を利用しやすくしたりする利水を目的に、川の護岸をコンクリートで固める改修を行いました。

生き物がいない
遊べない川

コンクリート護岸の上西郷川には生き物が少なく、子どもたちが遊べるような川ではありませんでした。また、護岸の左右の高さが異なり、住宅地側のほうが低いという問題点もありました。地元に住む人たちは上西郷川に対しての関心も低く、川全体にふたをかぶせて暗きよにしてほしいとの声もありました。

都会を流れる 自然豊かな川

住宅街にあり、生き物のいる、子どもたちが泳げるようになった上西郷川。平成25年の改修前までは、生き物がいない、泳げない川でした。



①石や木など自然のものを使って、水の量や流れを生み出し、生き物が住みやすいように工夫している
②九州や山口に生息し、環境省が絶滅の危険が増大している種としているヤマトシマドジョウ。改修後は個体数が増えた
③福間南小学校4年生による、小さな魚たちのすみかとなる水路作り
④川遊びを楽しむ、いろいろ真愛保育園の子どもたち